

## こころの救急箱 通信 第6号

発行：特定非営利活動法人 こころの救急箱 2014年4月

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-16-17-708 号

事務局：電話・FAX：06-6942-9092

e-メール：[cocorono9090baco@kpa.biglobe.ne.jp](mailto:cocorono9090baco@kpa.biglobe.ne.jp)

URL：<http://www.1a.biglobe.ne.jp/cocorono9090baco/index.html>

相談電話：06-6942-9090(月曜日夜8時～火曜日朝3時)



### 「こころの救急箱」

上智大学特任教授・グリーンケア研究所所長

高木 慶子

「こころの救急箱」とのネーミングに、何とすてきな名前でしょう！と感動しております。

「救急箱」に必要なのは、身体的に急な病いの場合だけではなく、人間にとってもっとも大切な「こころ」のためにも必要なものです。その大事な箱をたずさえて「救急なとき」に、その「箱」を開きお手当をする。そのようなお考えで設立されたみな様のおこころの広さと深さに、私はこころから感謝し、御礼を申し上げたい思いでいっぱいです。

現代の日本の社会は、まさに「こころの救急箱」を必要としている時代ではないでしょうか？こころに深い悲しみ、苦しみを抱きながら、孤独な生活をしておられる方々は、決して少なくはないと考えます。自死者が少なくなったとは言え、どれ程の方々が、生活するのに苦しい社会を生きておられることでしょうか。

そのような方々に、急ぎ寄り添い「救急箱」から優しく温かいこころをお示しになられましたら、どれ程多くの方々に、幸せをお運びになられることでしょうか。

日本の国土は災害の多い風土です。このような国土に生活している私たちは、いつ、どこで災害に会うか分かりません。ですから、いつ自分のいのちが終わるのか、家族や親しい方々とお別れしなければならないのか、その時を知りません。それ故、私たちは常に、相互に大事な人との一期一会を大切にしながら、毎日の生活を過ごしたいと願っております。

今後とも「こころの救急箱」が多くの方々に使っていただけるグループとなられることを祈念しております。

グリーンケアの第一人者としてご活躍の高木慶子氏には昨年9月28日の「こころの救急箱創立3周年記念講演会」でご講演いただきました。多くの参加者やスタッフにとって心に深く響く素晴らしいお話を伺い、今回ご寄稿をいただきました。